

放射線治療科

4月より当院に異動になりました
新任の常勤医師をご紹介します。

NEW

新任医師紹介



放射線治療科部長

高島 均

本院の放射線治療装置「TomoTherapy」は強度変調放射線治療(IMRT)に特化した治療器です。

IMRTとは病巣の形状に合致させた照射が可能で腫瘍制御の向上、正常組織の障害の軽減に有用です。また、照射直前に治療に用いるX線でCTを撮影し、腫瘍の位置のズレを補正(画像誘導放射線治療:IGRT)し、精度の高い治療が行えます。

これらの技術により、一度に高線量を投与する定位放射線治療(SRT)が可能です。

近年では「oligo-metastasis」といった概念が普及し、数個までの転移巣に対する局所根絶治療(切除、定位放射線照射など)の有用性が示されています。本院では転移巣に対する対症療法も積極的に施行しておりますが、脳転移、骨転移、リンパ節転移などのoligo-metastasisの患者様に対する定位放射線治療にも取り組んでいます。



(治療前)

上咽頭癌骨転移

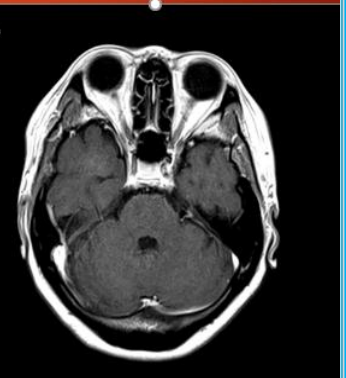


(治療後 5年)

乳癌脳転移

治療前 (2014/3/26)

治療後2年 (2016/02/24)



外科



外科医長

西村 充孝

このたび2018年4月より滝宮総合病院外科に赴任してきました西村充孝と申します。平成17年香川大学医学部を卒業後、高松赤十字病院、香川大学医学部附属病院、KKR高松病院を経て当院へ赴任して参りました。消化器外科、特に消化管外科手術を担当しております。胃がん、大腸がんなど癌疾患に対する手術治療および抗がん剤治療や、胆石症、急性虫垂炎、鼠径ヘルニアなどの一般外科手術を行っています。手術と言いますとご本人にとっては必ずしも気分の良い治療ではありませんし、敬遠したい気持ちもあろうかと思えます。それでも、手術治療が患者様にとっ

て最善であるのであれば、患者様と二人三脚で治療にお力添えが出来ればと考えて毎日の診療に当たっております。滝宮総合病院で手術を受けたい、手術して良かったと言っただけのような外科でありたいと思い日々努力して参りますので、外科疾患でお困りの皆様はぜひ当科を受診されてみてください。

整形外科



整形外科部長
山下 泰司

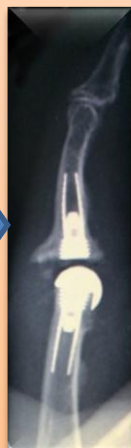
平成 13 年自治医科大学卒業後、香川県立中央病院、土庄中央病院などで骨折を中心とした外傷の治療に従事し、平成 25 年より琉球大学にて手の外科の研修を行ってまいりました。手の痛み、変形、しびれなどでお困りのことがあれば相談に来てください。指の変形や痛みに対する人工関節置換術や、デュピュイトラン拘縮に対する酵素注射療法などの比較的新しい治療や、手のしびれの原因となる手根管症候群や肘部管症候群の手術加療、手関節痛の原因となる TFCC 損傷に対する手術加療、親指付け根の痛みとなる CM 関節症の病期に応じた治療、手の腫瘍に対する手術用顕微鏡を用いたマイクロサージャリーなど、手外科専門医として幅広く対応いたします。もちろん骨折や外傷といった一般的なケガに対しても早期に仕事に復帰できるような治療を心がけていきたいと思っております。よろしくお願いいたします。



指の変形や痛み



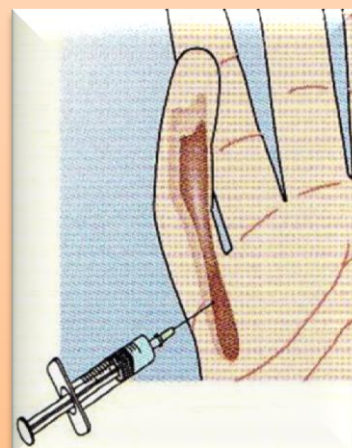
手術前



手術後



デュピュイトラン拘縮



酵素注射療法



整形外科医長
高橋 基城

はじめまして。4 月より整形外科にて勤務させて戴いている高橋と申します。当院に赴任する前は香川県立中央病院や津山中央病院等にて、主に骨折や人工関節手術（股関節・膝関節）を担当しておりました。平成 28 年度には国内有数の人工関節手術件数を誇るえにわ病院（北海道）へ国内留学し、レベルの高い技術を学ばせて戴きました。

人工関節は一昔前より遙かに進歩しており、10 年、20 年、30 年経過しても摩耗や緩みが生じにくくなっています。加えて、「関節痛を我慢せずに元気に生活し

たい」と望まれる方が増加しており、人工股関節や膝関節手術は全国的に増加傾向です。

香川県民の平均寿命は男性 80.85 歳、女性 87.21 歳と発表されているように、今はご長寿の方が増えています。本当はまだまだ元気なのに「もう年だから」と諦めて関節痛を我慢し続けるのではなく、痛みを減らして活動的な生活をより長く過ごしませんか？

股関節や膝関節の痛みでお悩みの方は是非当院を受診してみてください。